

1人1台端末を活用した授業改善の取組

帯広市立北栄小学校

(取組のポイント)

多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、目指す資質・能力を確実に育成することが求められていることから、教員がGIGAスクール構想における1人1台端末をはじめとしたICT機器を効果的に活用し、子どもたち一人一人に個別最適化な学びを提供することができることを目指した取組である。

取組に当たっての課題意識

- 1人1台端末の操作方法をはじめ、クラウドサービスの知識・技術の習得
- 端末の効果的な指導場面や活用方法の確立

具体の取組例	事業との関連等
<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業改善推進チームによる取組の啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・研修部とリンクした研修内容の設定 ・朝学習等で行うタイピング練習用の教材作成 ○ 端末操作及び活用に関する校内研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・クラウドサービスの知識 ・Google Workspace for Educationの操作演習 ・Google Classroomの構築 ・ストリームや課題の配布・回収 ○ 端末の活用に係る環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・保管庫の整備 ・クラウドサービス（ドリル教材など）のアカウントの整備及び児童・家庭への周知 ○ オンライン授業への取組 <ul style="list-style-type: none"> ・Google Meetの利用方法 ・家庭へ持ち帰ってインターネットへの接続テスト ・教室を分けたオンライン授業の練習 <p>※その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Google Meetを使った児童会活動・儀式的行事の実施 ・Google Formsを使った欠席連絡の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・帯広市教育委員会による全教員のスタートアップ研修、及びコア研修への参加 ・十勝教育局による端末持ち帰りに関する講習会への参加 ・道教委による授業改善推進チーム全道研修会及び管内や他管の推進チームとの交流会の実施 ・帯広市教育研究所による夏季研修での端末活用の実践事例や、タブレット活用講座への参加



【Classroomを活用した授業の様子】

課題解決に向けたプロセス

取組の成果

- 1人1台端末の活用方法を理解し、積極的に授業で活用するようになった。
- 端末の利便性が理解され、朝学習での利用など、授業以外での活用が進んだ。